

第3分科会 高等学校 学習情報指導 テーマ 「探究授業ブックリスト」

石川県立大聖寺実業高等学校 司書 二木 和代
石川県立大聖寺高等学校 司書 橋本 尚子

1 はじめに

「探究授業で生徒の求める資料の提供が思うようにできなかった」という苦い経験は、私たち司書にはありがちなことである。

その度に「前もってテーマを聞いていたら準備もでき、きちんと対応できた」と悔しい思いをしたりもする。

そんな悩みの解決方法のひとつとして、探究授業ブックリストを作成することにした。

2 実践の概要

(1)各校で対応した探究授業のテーマと、提供した図書のリストを記録として作成
テレワーク、加賀温泉郷、観光 など

(2)下記①～③の共通テーマを設定し、分類0～9ごとに「キーワード」と、関連図書のリストを事前準備として作成

- ① コロナウィルス感染症
- ② SDGs
- ③ 石川県

各校で作成したリストをひとつにまとめた。

(3)学校ごとに必要に応じたリストを作成

- ① 「SDGs」で、17の目標別のリスト
- ② 「石川県」で文学(平家物語、芭蕉と俳句、三文豪)に特化したリスト
- ③ 「コロナウィルス感染症」「SDGs」関連の新聞記事リスト

(4)ブックリストの活用方法

- ① 司書自身の虎の巻
 - ・常に更新していく必要がある
- ② 生徒へ提示
 - ・自分で本を探せるようにするため
- ③ 教職員へアピール
 - ・リストや図書室利用を促すため
- ④ 展示用
 - ・小論文対策や課題研究のため

(5)リスト作成の効果や利点

- ① 今後の選書のヒントになる
- ② 司書自身の分類の得意、不得意がわかる
- ③ 生徒がほしい情報を絞り込める
- ④ 不足している分類の図書が把握できる
 - ・蔵書構成の割合が低い分類6の図書がよく活用されている
- ⑤ 情報の古い図書が把握できる
 - ・SDGsの資料が古い
- ⑥ リストに入れたキーワードはネット検索でも有効である

3 今後の課題

探究授業のテーマは事前に確認できれば、それに越したことはないが、指示を「待っている」だけではいけない。いつでも、どんなテーマでも対応できるように、記録や準備をしておきたい。

ブックリストが手元にあることで、焦らず落ち着いて対応できる。またキーワードがあることで、生徒が求めている情報を探る手掛かりにもなる。「コロナウィルス感染症」ひとつにしても、「医療」だけではなく、「心理」「経済」「教育」「生活様式」「余暇」など、あらゆる分野の情報が必要となってくる。そういったことにもこのリストは対応できる。

また、最近の大学での幅広い教養を身に着けるリベラルアーツ教育や文理融合の考え方にも当てはまるように思う。

今後も日頃からアンテナを立て、生徒が必要とする情報を収集、提供していきたい。それと同時に、ネットにはない図書館や紙の図書の利点を発信すること、さらに利用者が紙とネット上の情報の両方をうまく活用できるよう援助していくことが必要なのではないだろうか。